

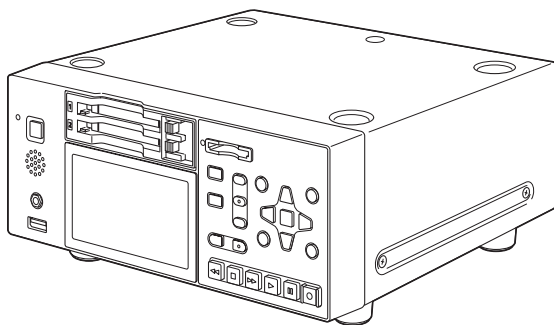
初めにお読みください。
本書は、Memory Card Portable Recorder の基本操作について説明しています。
より詳しい操作説明は、同梱の CD-ROM 内に収録の「取扱説明書 Volume 2」
(PDF) をご覧ください。

P2HD

HDMI™

HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

SD HG



AVC INTRA

DVC PRO HD

DVC PRO 50

DVC PRO

DN

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5~11ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI, HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- Microsoft[®], Windows[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple およびMacintosh は、米国Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本書内のイラストについて

- レコーダー本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを(→「***」*ページ)のように示しています。

用語について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、どちらも「SDメモリーカード」と記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード(別売のAJ-P2E064XGなど)を「P2カード」と記載しています。
- USBに接続される外部ハードディスクドライブ(HDD)などのメディアを「ストレージデバイス」と記載しています。
- 1回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。
- 本機パネルのオレンジ色の文字のボタン名は[SHIFT] ボタンを押しながらそのボタンを押したときの名称です。操作説明上は「SHIFTを押しながら」とは記載せずにボタン名のみを記載しています。

ウェブサイトURLについて

- 日本語:<http://panasonic.biz/sav/>
- 英語:<http://pro-av.panasonic.net/>

著作権について

- あなたが録画や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

目次

Volume 1

安全上のご注意	5	AC アダプターを使う	24
電源プラグの接地に関するご注意	11	取り付け	24
定格の記載位置	11	取り外し	24
使用上のご注意	12	電源の入れかた・切りかた	25
本機について	12	電源を ON にする	25
AC アダプターについて	13	電源を OFF にする	25
バッテリーについて	13	動作中の自動電源オフについて	26
使用済み充電式電池 (バッテリー) の		年月日・時刻を合わせる	26
届け先	13		
使用済み充電式電池の取り扱いに			
ついて	14		
バッテリーの特性について	14		
使い終わったら、必ずバッテリーを			
外してください	14		
バッテリーの端子部を			
保護してください	14		
ご使用前に	14		
必ず年月日・時刻、タイムゾーンの確認・			
設定を行いましょう	14		
本機で使えるメディアについて	14		
付属品・別売品	15		
付属品	15		
別売品	15		
各部の名称と機能	16		
操作部	16		
スロット他	19		
入出力端子部	20		
準備	22		
バッテリーの充電	22		
電源の準備	23		
バッテリーを使う	23		
取り付け	23		
取り外し	23		
		基本の操作	27
		P2 カードについて	27
		P2 カードの挿入	27
		P2 カードアクセスランプと	
		P2 カードの状態について	27
		P2 カードと記録時間について	28
		P2 カードの取り出し	29
		誤消去を防ぐには	29
		メニューの操作	30
		液晶モニターの設定	31
		サムネール画面の表示	32
		サムネール画面を表示する	32
		記録する	33
		再生する	33
		録再画面 (サムネール画面オフ)	
		からの再生	33
		サムネール画面からの再生	33
		タイムコード・ユーザーズビット・	
		CTL について	34
		タイムコード	34
		ユーザーズビット	34
		CTL	34
		外部機器との接続	35
		USB デバイス	35
		USB HOST	35
		3D 信号の記録再生を行う	36
		接続	37
		記録の接続例	37

目次

再生の接続例	38
3D 録再モードへの切り替え	40
電源の入れかた・切りかた	40
電源を ON にする	40
電源を OFF にする	40
記録と再生	41
記録する	41
再生する	42
3D のサムネールを表示する	43
サムネール画面を表示する	43
サムネール画面の各部の名称	43
<hr/>	
同期再生を行う	44
接続	44
同期再生モードへの切り替え	44
再生	45
正しく同期再生するには	45
再生画面 (サムネール画面オフ) からの再生	45
サムネール画面からの再生	46

設定メニュー	47
<hr/>	
定格	48
<hr/>	
さくいん	52

Volume 2

各種モードについて

メインモード

USB デバイスモード

3D 録再モード (3D REC/PB)

同期再生モード (SYNC PB)

画面の表示

タイムコード・ユーザズビット・CTL

設定メニュー

キーボードの利用




未永くお使いいただくために

さくいん


安全上のご注意 **必ずお守りください**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を以下の図記号で説明しています。

    	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。



危険

バッテリーは…



- 指定以外のものを使わない
- 端子部(+-)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない
- バッテリーを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、過熱、火中投入などをしていない
- 電子レンジやオープンなどで加熱しない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
(液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。)
⇒ 使用しないときは、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
⇒ 不要(寿命)になったバッテリーについては13ページをご参照ください。
⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
液が身体や衣服に付いたときは、水ですぐ洗い流してください。
液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。



- **バッテリーは、専用の充電器で充電する**
(指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。)

バッテリー充電器は…



- **本機専用のバッテリー以外の充電には使わない**
(液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。)



警告

バッテリーは…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があったときは、直ちにバッテリーを外す
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使うと、火災・感電の原因になります。)
⇒ ACアダプターで使っている場合は、ACアダプターを外してください。
⇒ 販売店に相談してください。

ACアダプターは…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く






- 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、プラグに簡単に手が届くようにしてください。本機を電源から完全に遮断するには、電源コンセントからプラグを抜く必要があります。
⇒ お買い上げの販売店に相談してください。



- ACコードが破損するようなことはしない
[傷つける、加工する、高音部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]
(ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に相談してください。
- コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100 V～240 V以外での使用はしない
(たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)
- 水などの液体をかけたりぬらしたりしない
(ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
⇒ 機器の上や近くに液体の入った花びんなどの容器や金属物を置かないでください。
- 専用のACアダプター以外は使用しない
(定格外のACアダプターを使用すると、火災の原因になります。)



警告(つづき)

 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)</p>
 水場使用 禁止	<p>■ 水場で使用しない (感電や火災の原因になります。)</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない (感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグに触れない (感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 痛んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
	<p>■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。) ⇒ 電源コンセントからプラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p>



警告(つづき)

本機は…



- 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
(ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

- 不安定な場所に置かない
(落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)



分解禁止

- 改造をしない
(内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)
⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 指定のカバー以外は外さない
(内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)
⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

付属品、別売品は…



- 付属品は指定の製品を使用する
(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)



- メモリーカード(別売品)は、乳幼児の手の届く所に置かない
(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



注意

本機やACアダプターは…



- **本機の放熱を妨げない**
[押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない]
(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
- **直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない**
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。
(本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)
- **油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない**
(火災や感電の原因になります。)
- **本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない**
(落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。)
(重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
- **コードを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない**
(足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)



- **飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う**
(本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。)
⇒ 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。



電源プラグ
を抜く

- **長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く**
(火災や感電の原因になります。)

3D映像の視聴時は…



- **3D映像の視聴時は、モニターなど表示機器の取扱説明書に従い正しく安全に使用する**
(誤った視聴を続けると、目の疲れや、体調不良の原因になることがあります。)

■ 本機で使えるバッテリーについて

(2011年8月現在)

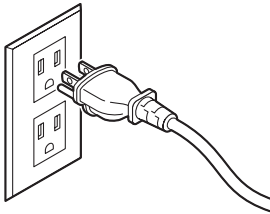
本機で使用できるパナソニック製バッテリーはVW-VBD55です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しました。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、当社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をあらためておすすめいたします。

なお、当社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されているACコード(ACアダプター用)は、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付ACコードを準備してください。

定格の記載位置

定格銘板は底面にあります。

使用上のご注意

本機について

■ 録画内容の補償はできません

- 本機およびP2カード、SDメモリーカードの使用で、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

■ 雨天、降雪中、海岸などで使うときは、本機に水が入らないようお気をつけください。

- 本機やカードの故障につながります。(修理できなくなることがあります)

■ 本機を直射日光にさらされた場所に置かないでください。

- キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷のおそれがあります。

■ 磁気を発生する機器(テレビ、テレビゲームなど)から本機を遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺で本機を使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめたりすることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、本機に悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器により本機が悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、本機の電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後本機の電源を入れます。

■ 本機をラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

■ 海岸などで使用する場合、砂やほこりが本機に入らないようお気をつけください。

- 砂やほこりで本機やカードが破損することがあります。(カードを出し入れするときには、お気をつけください)

■ 本機を持ち運ぶとき、落とさないようにお気をつけください。

- 強い衝撃で本機本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。

■ 本機に殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、本機本体が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- 本機は、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

■ メモリーカードやストレージデバイスを破棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機やパーソナルコンピューターの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカードやストレージデバイス内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカードやストレージデバイス本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトなどを使って、メモリーカードやストレージデバイス内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカードやストレージデバイス内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 液晶について

- 液晶モニターのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- 液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- 本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。
- 液晶モニターはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をされますと、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。特に、次のような映像の長時間連続表示は避けてください。

- 明るい静止画
 - 固定されたロゴマークなどの映像
 - サムネール画面
 - コンピューターのウインドウなどの明るい表示
 - モニターのアスペクト比と異なるアスペクト比の映像(レターボックスなどの帯が表示される映像)
- また、次のような環境での連続使用は避けてください。
- 高温多湿になる密閉された場所
 - 空調設備の吹き出し口近くなど
- 上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをおすすめします。
- 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
 - 輝度を下げる
 - 使用しない場合は本体の電源を切る
- 残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License(GPL)ならびにGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードの入手については、弊社Webサイト(→「ウェブサイトURLについて」2ページ)をご覧ください。なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。
2. 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

これらの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。「LDOC」という名前のフォルダーを参照してください。(原文は英文で記載しております)

ACアダプターについて

付属のACアダプターを使用してください。ご使用の際には、取扱説明書(本書)をよく読んでご使用ください。(→「ACアダプターを使う」24ページ)

バッテリーについて

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ。
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご覧ください。

- ホームページ:
<http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



Li-Ion

充電式

リチウムイオン
電池使用

バッテリーの特性について

本機のバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。

この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほどバッテリーの有効使用時間は短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、満充電でも5分ほどしか動作しないこともあります。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください

本機からバッテリーを確実に外してください。付けたままにしておくと、本機の電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。変形したバッテリーを本機に入れたり、充電器に付けたりすると、本機や充電器側を傷めることがあります。

ご使用の前に

必ず年月日・時刻、タイムゾーンの確認・設定を行いましょ

記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。記録の前に年月日・時刻、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。(→「年月日・時刻を合わせる」26 ページ)

本機で使えるメディアについて

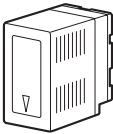
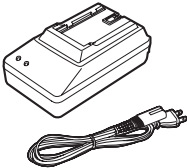
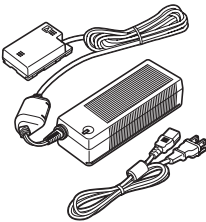
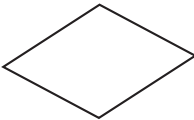
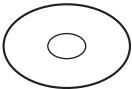
以下のメディアが使用できます。詳しくはそれぞれのページをご覧ください。

- P2カード(→「P2カード記録データの取り扱いについて」Vol.2 89 ページ)
- SD / SDHCメモリーカード*(→「SD/SDHCメモリーカードのご使用について」Vol.2 90 ページ)

* 本機では、SD / SDHCメモリーカードは、映像 / 音声の記録再生にはご使用できません。

付属品・別売品

付属品

<p>バッテリー</p>  <p>品番→「別売品」(下記)</p>	<p>バッテリー充電器/ ACコード</p> 	<p>ACアダプター/ ACコード</p> 	<p>3D結線ラベル</p> 
<p>CD-ROM</p> 			

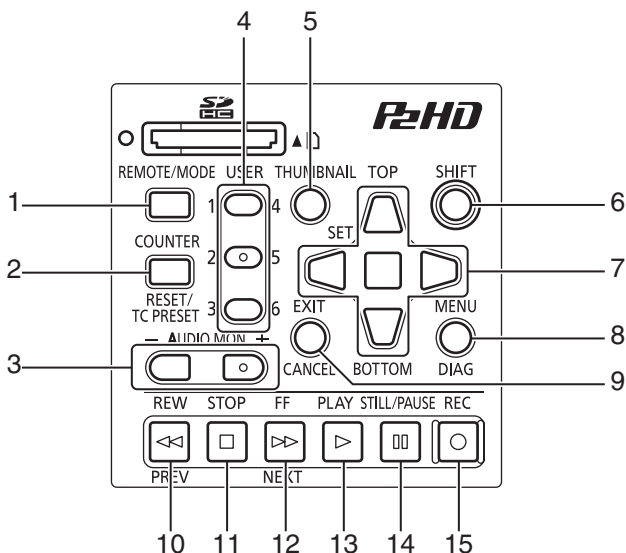
- ACコードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

別売品

- バッテリー VW-VBD55 (5400 mAh)

各部の名称と機能

操作部



ボタン名表示について：ボタン表記でオレンジ色の名称はSHIFTと同時に押したときの名称です。

<例> [SHIFT] ボタンと[REMOTE / MODE] ボタンの同時押しは、[MODE] ボタンと呼ぶ。

1. REMOTE・MODEボタン

[REMOTE] ボタン：

REMOTE端子から本機をコントロールするモードに切り替えるボタンです。

[MODE] ボタン：

USB デバイスモード(USB DEVICE)、3D録再モード(3D REC / PB)および同期再生モード(SYNC PB)に切り替えるときに使用します。

USB DEVICE

パーソナルコンピューターなどとUSB2.0で接続することにより、本機のP2カードスロットに挿入されたP2カードをマスタートレージとして扱うことができます。

3D REC / PB

本機器を2台同期動作させることにより、Dual P2 3Dクリップ(36 ページ)の記録 / 再生を行います。

SYNC PB

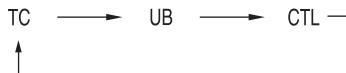
本機器を2台同期動作させることにより、Dual P2 3D対応機以外で作成されたP2カード上の3Dコンテンツのクリップ(44 ページ)を再生します。

2. COUNTER・RESET / TC PRESETボタン

[COUNTER] ボタン：

カウンター表示を以下の順番で切り替えることができます。



(→「タイムコード・ユーザズビット・CTL」 Vol.2 48 ページ)



[RESET / TC PRESET] ボタン：

カウンター表示がCTLのときは、CTLカウンターをリセットします。

カウンター表示がTCまたはUBのときは、タイムコード / ユーザズビットのプリセットを行うことができます。

- 3. AUDIO MONボタン**
モニター音量調整：
 [AUDIO MON] ボタンの[+] / [-] ボタンを押すと、スピーカーとヘッドホン端子から出力される音量調整値が表示され、音量を調節できます。一定時間経過後、または[SET] ボタンあるいは[EXIT] ボタンを押すと通常の表示へ戻ります。
記録音量調整：
 (→「クリップを記録する」Vol.2 6 ページ)
- 4. USER1・3・4-6ボタン**
 ユーザーが任意の機能を割り当てできるボタンです。
 (→「設定メニュー」 Vol.2 51 ページ)
- 5. THUMBNAILボタン**
 サムネール画面の表示・非表示を切り替えます。
 (→「サムネール画面の表示」32 ページ)
- 6. SHIFTボタン**
 このボタンを押しながら他のボタンを同時に押すことで、定義されたボタン操作を行います。
 本機のオレンジ色文字のボタン名以外での[SHIFT]ボタンとの同時押しで作用する機能については以下にて説明します。
直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択
 [SHIFT] + [SET] ボタン
 (→「クリップの選択と解除」Vol.2 16 ページ)
- ストレージデバイスの選択したパーティション / フォルダーのサムネール一括表示**
 [SHIFT] + [SET] ボタン
 (→「エクスプローラー画面での各種操作について」Vol.2 33 ページ)
- ストレージデバイスのパーティション / フォルダーの移動**
 [SHIFT] + [+] / [-] ボタン
 (→「ストレージデバイスのクリップのサムネール表示と映像のモニター表示」Vol.2 34 ページ)
- 7. カーソル操作ボタン**
[上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタン：
 • サムネールやメニューなどのカーソル移動の操作を行います。
 • 再生中に[左] / [右] 十字カーソルボタン押しで、SHTLモードとなり速度を可変できます。
 (→「可変速再生を行う」Vol.2 44 ページ)
 • 可変速再生中に[SET]ボタンを押すと再生が一時停止します。
- 静止中に[上] / [下] 十字カーソルボタン押しで、コマ送りができます。
 (→「コマ送り再生」Vol.2 8 ページ)
 • 記録音声調整に、このボタンを使用します。
 (→「クリップを記録する」Vol.2 6 ページ)
- [TOP] / [BOTTOM] ボタン：**
 サムネールの先頭(TOP) あるいは最終(BOTTOM) へカーソルを移動します。
- [SET] ボタン：**
 サムネールの選択やメニュー選択などの操作を行います。
-
- ◆NOTE:**
- [SET]ボタンを長く押し続けた場合、選択は行いません。
- 8. MENU・DIAGボタン**
[MENU] ボタン：
 ボタンを押すとメニューを表示します。
[DIAG] ボタン：
 メニューを表示していないときにボタンを押すと、各種状態表示を行うダイアグ画面を表示します。
 (→「デッキ情報(ダイアグ)表示」 Vol.2 46 ページ)
- 9. EXIT・CANCELボタン**
[EXIT] ボタン：
 メニューを閉じたり、ストレージ・エクスプローラーから通常の表示へ戻ります。
[CANCEL] ボタン：
 選択の解除やコピー操作の中断などを行います。
- 10. REW・PREV  ボタン**
[REW] ボタン：
 早戻し再生します。速度は、メニュー「SETUP」-「BASIC」-「FF.REW MAX」で選択可能です。
[PREV] ボタン：
 再生中に次のクリップあるいはクリップとテキストメモ位置の頭だしを行います。
 3D録再モードおよび同期再生モードでは静止中にクリップの頭だしを行います。
-
- ◆NOTE:**
- 3D録再モードでは再生中の頭だしは行えません。
 • 同期再生モードでは再生一時停止中のみ頭だしを行います。
- 11. STOP  ボタン**
 再生または記録を停止します。

12. FF・NEXT ボタン

[FF] ボタン：

早送り再生します。速度は、メニュー「[SETUP] - [BASIC] - [FF.REW MAX]」で選択可能です。

[NEXT] ボタン：

再生中に次のクリップ、あるいはクリップおよびテキストメモ位置の頭だしを行います。3D録再モードおよび同期再生モードでは静止中にクリップの頭だしを行います。

◆NOTE:

- 3D録再モードでは再生中の頭だしは行えません。
- 同期再生モードでは再生一時停止中のみ頭だしを行います。

13. PLAY ボタン

再生します。

(→「再生する」 42 ページ、→「クリップを再生する」 Vol.2 44 ページ)

14. STILL / PAUSE ボタン

再生中に押すと一時停止(STILL)し、静止画を表示します。

記録中に押すと記録待機(PAUSE)状態となります。

記録待機状態中に押すと記録が開始されません。

15. REC ボタン

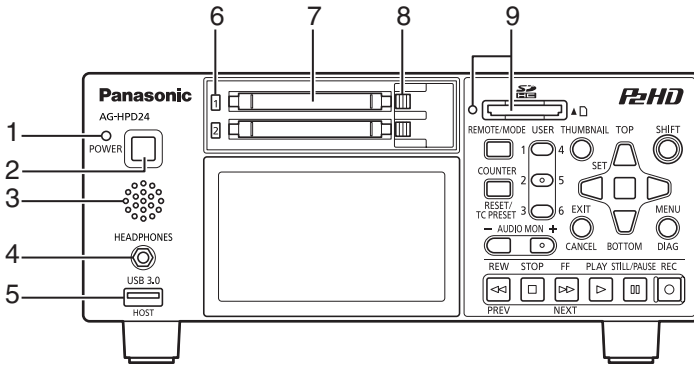
録再画面表示(サムネール画面オフ時)からの再生画出力中にEEの映像と音声を確認できません。停止中以外はボタンを押している間、停止中は一度ボタンを押し、その他のボタンを押すまではEEを継続します。EEの確認は再生画のフォーマットと、メニュー「[SETUP] - [SYSTEM] - [FORMAT]」の設定が一致するときのみ可能です。

[PLAY] ボタンと同時に押すと記録を開始します。

[STILL / PAUSE] ボタンと同時に押すと記録待機状態となります。メニューを設定することでカメラからのリモート記録ができます。リモート記録の設定はメニュー「[SETUP] - [BASIC] - [AUTO REC]」で行います。

(→「設定メニュー」 Vol.2 51 ページ)

スロット他



- 1. POWERランプ**
(→「電源の入れかた・切りかた」25 ページ)
- 2. POWERボタン**
長押しで電源のON / OFFを行います。
(→「電源の入れかた・切りかた」25 ページ)
- 3. スピーカー**
オーディオのモニター音を出力します。ヘッドホンを接続するとモニター音は出力されません。
- 4. ヘッドホン端子**
ヘッドホンを接続できます。ヘッドホン接続時、オーディオのモニター音を出力します。
- 5. USB HOST端子(USB3.0 TYPE A)**
(→「USB HOST」 35 ページ)

◆NOTE:

- 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- USB3.0対応のストレージデバイスと接続する場合は、USB3.0規格準拠のケーブルをご使用ください。

- 6. P2カードアクセスランプ**
(→「P2カードアクセスランプとP2カードの状態について」 27 ページ)
- 7. P2カードスロット**
(→「P2カードについて」 27 ページ)
- 8. EJECTボタン**
(→「P2カードについて」 27 ページ)

- 9. SD / SDHCメモリーカードスロット / アクセスランプ**

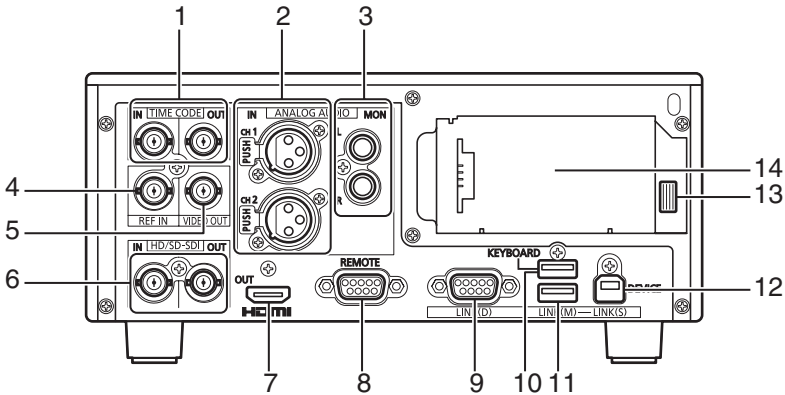
SD / SDHCメモリーカードを挿入します。挿入するときは、カードのラベル面を上コーナーカット側から入れ、ロックされるまで挿入します。

取り出すときは、緑色のランプが点灯していないことを確認し、カードを挿入した方向に押しつけてロックを解除します。

その他詳細は以下を参照してください。

(→「SD/SDHCメモリーカードのご使用について」 Vol.2 90 ページ)

入出力端子部



1. TIME CODE IN / OUT端子

TIME CODE IN: 外部タイムコードを、P2カードに記録するための端子です。

TIME CODE OUT: 再生時は再生タイムコードを出力します。
記録時は内蔵タイムコードジェネレーターから発生するタイムコードを出力します。

2. ANALOG AUDIO IN端子

アナログオーディオの入力端子です。

3. ANALOG AUDIO MON出力端子

オーディオ信号(CH1 ~ CH8)の中からメニュー「SETUP」-「AUDIO」-「MONITOR CH」(→「設定メニュー」Vol.2 51 ページ)で選択した信号を出力します。

4. REF IN端子

HD / SDリファレンス・ビデオ信号の入力端子です。

3D録再モードおよび同期再生モードのときは、スレーブ機のVIDEO OUT端子と接続します。

(→「3D信号の記録再生を行う」 36 ページ、→「同期再生を行う」 44 ページ)

◆NOTE:

- HDリファレンスとして使用するときには、正負両極性の3値同期信号を入力してください。また、入力信号やSYSTEMフォーマットにあった信号を入力してください。
- メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」を「23.98 Hz」、「24 Hz」、「59.23」、「60 - 24」に設定したときはHDリファレンスのみ使用できます。
- SDリファレンスとして使用するときには、SMPTE 170M、ITU624-4に準拠したブラックバースト信号を入力してください。
- 3D録再モードおよび同期再生モードでは、メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」が、「59.94 Hz」「50 Hz」設定の場合、ブラックバーストリファレンス信号のみ使用できます。「23.98 Hz」「24 Hz」設定の場合、HDリファレンスのみ使用できます。
- リファレンス・ビデオ信号を入力しないとき、映像や音声の出力信号が乱れることがあります。リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムでを使用することをお勧めします。
- 720Pでは、HDリファレンスを入力、またはリファレンスを入力せずに記録を行うと、入力信号に対して位相がずれて記録されることがあります。
- メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」を「59.23」、「60 - 24」に設定した場合、再生のみHDリファレンス信号に同期します。

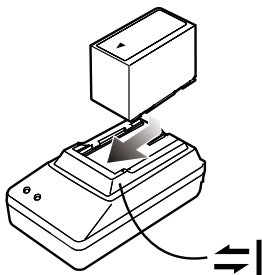
- 5. VIDEO OUT端子**
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。
メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」を「24 Hz」、「60 - 24」に設定したときは出力されません。
3D録再モードおよび同期再生モードのときは、本機器専用同期信号を出力します。
(→「3D信号の記録再生を行う」36ページ、→「同期再生を行う」44ページ)
-
- 6. HD / SD - SDI IN / OUT端子**
シリアル・デジタル・コンポーネント・オーディオ / ビデオ信号の入出力ができます。
-
- ◆NOTE:
 - 本端子に接続するケーブルは、5C-FB相当のダブルシールドのものを请使用ください。
- 7. HDMI OUT端子**
HDMIケーブルを使用し、モニターやテレビと接続します。3D録再モードおよび同期再生モードのときは3Dモニターと接続し3D映像も表示できます。
(→「3D信号の記録再生を行う」36ページ、→「同期再生を行う」44ページ)
-
- ◆NOTE:
 - 本機はピエラリンクに対応していません。ピエラリンク対応機器とHDMIケーブルで接続すると、他の機器のピエラリンクが正しく動作しないことがありますのでお気をつけください。
- 8. REMOTE端子**
本機と外部コントローラーを接続して、外部機器から本機を操作できます。
-
- ◆NOTE:
 - 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものを请使用ください。
- 9. LINK(D)端子**
3D録再モードおよび同期再生モード時に、本機2台を接続します。
(→「3D信号の記録再生を行う」36ページ、→「同期再生を行う」44ページ)
-
- ◆NOTE:
 - 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドで1 m以内の長さのRS - 422Aケーブルを请使用ください。
- 10. KEYBOARD端子(USB 2.0 TYPE A)**
メタデータ入力などときに外付けのUSBキーボードを接続してデータ入力など行うことができます。
(→「キーボードの利用」Vol.2 79ページ)
- 11. LINK(M)端子(USB 2.0 TYPE A)**
(→「3D信号の記録再生を行う」36ページ、→「同期再生を行う」44ページ)
-
- ◆NOTE:
 - 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものを请使用ください。
- 12. USB2.0 デバイス端子 / LINK(S)端子(TYPE B)**
(→「USBデバイス」35ページ、→「3D信号の記録再生を行う」36ページ、→「同期再生を行う」44ページ)
-
- ◆NOTE:
 - 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものを请使用ください。
- 13. バッテリーロック解除ボタン**
(→「バッテリーを使う」23ページ)
- 14. 電源およびバッテリー装着部**
(→「電源の準備」23ページ)

準備

バッテリーの充電

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。バッテリーを使用する前に、付属の充電器で満充電を行ってください。また、予備のバッテリーを1本用意されることをお勧めします。

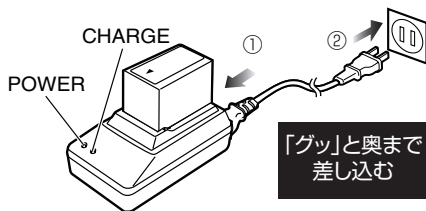
1 充電器のマークにそってバッテリーを水平に載せ、スライドさせる



2 ACコード(バッテリー充電器用)を充電器に接続し、電源プラグをコンセントに接続する

ACコードは①②の順に差し込んでください。

- 充電器のPOWERランプとCHARGEランプが点灯し、充電を開始します。
- バッテリーを取り付けたときにCHARGEランプが点灯しない場合、バッテリーを取り付けなおしてください。



- 充電が終わると、充電器のCHARGEランプが消灯します。

3 バッテリーをスライドさせて取り外す

■ 付属のバッテリーの充電時間と使用時間の目安について

容量: 5400 mAh

充電時間: 約330分

連続再生時間: 約160分

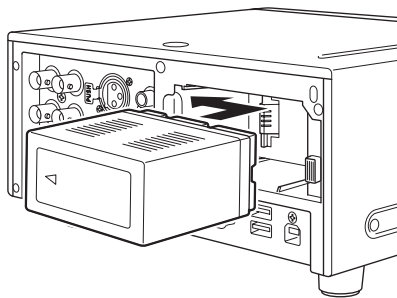
- 上記の値は、シリーズのP2カードにAVC-Intra 100モードで記録されたクリップを連続して再生したときの目安です。
- 上記の値は、動作周囲温度20℃、動作相対湿度60%での時間です。それ以外の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。
- バッテリーは、使用中や充電中には温度が高くなります。
- バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくはバッテリーが長期間使用されず放電したままになっているときは、CHARGEランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも、CHARGEランプが点滅し続けるときは、バッテリーに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。
- 充電器やACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。充電器やACアダプターとラジオは1m以上離してお使いください。
- 充電器の使用中に、充電器からノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- バッテリー VW-VBD33(1500 mAh)は、動作を保証していません。

電源の準備

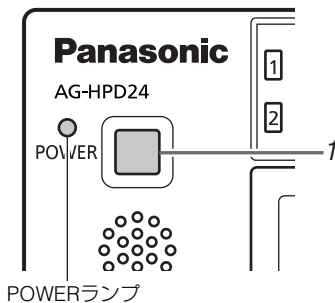
バッテリーを使う

取り付け

- 1 バッテリーをカチッという音がするまでスライドさせて取り付ける



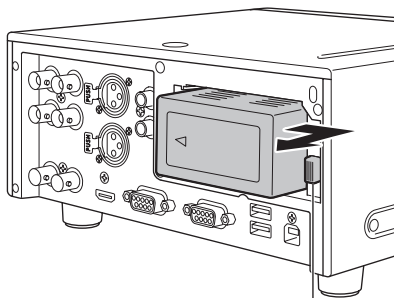
取り外し



- 1 [POWER] ボタンを2秒以上押して本機の電源をOFFにし、POWERランプが消灯したことを確認する
- 2 バッテリーロック解除ボタンを押しながらバッテリーを取り外す
バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

◆NOTE:

- 本機の電源がONの場合は、必ず本機の電源をOFFにしてから、バッテリーを取り外してください。



バッテリーロック解除ボタン

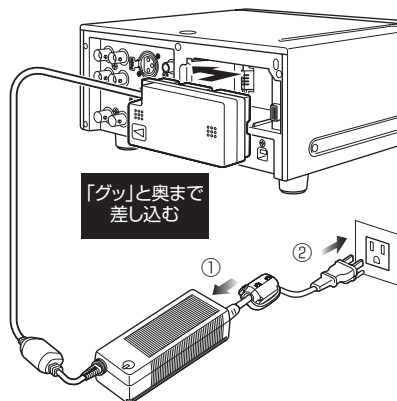
ACアダプターを使う

取り付け

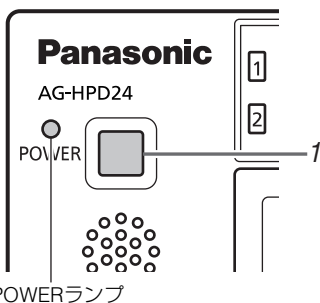
- 1** ACコード(ACアダプター用)をACアダプターに接続し、電源プラグをコンセントに接続する

ACコードは①②の順に差し込んでください。

- 2** DCコードのプレートをかちっという音がするまでスライドさせ取り付ける



取り外し



- 1** [POWER] ボタンを2秒以上押して本機の電源をOFFにし、POWERランプが消灯したことを確認する

- 2** バッテリーロック解除ボタンを押しながらDCコードのプレートを取り外す

◆NOTE:

- 本機の電源がONの場合は、必ず本機の電源をOFFにしてから、DCコードのプレートを取り外してください。

- 3** ACコード(ACアダプター用)をコンセントから抜く

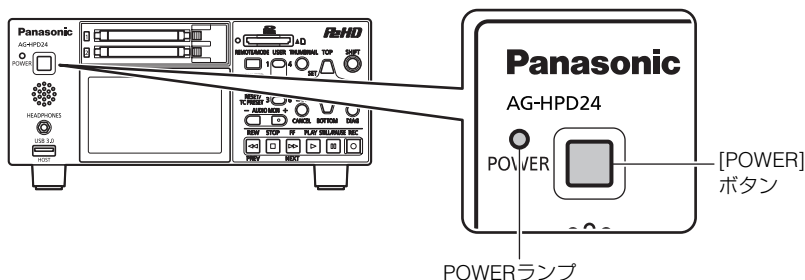
◆NOTE:

- ACアダプターは全世界の電源電圧(100 V ~ 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
- 本機を使用しないときは、ACコード(ACアダプター用)をコンセントから外してください。
- ACコード(ACアダプター用)をコンセントから外しても、ACアダプターの電源ランプがしばらくついたままですが、故障ではありません。

電源の入れかた・切りかた

電源をONにする

電源がOFFの状態ですべてのボタンを1秒以上押し続けると、電源がONになります。起動後はPOWERランプが緑色に点灯します。



◆NOTE:

起動中は以下のメッセージが表示されます。

- [STARTING SYSTEM...]: 起動中点滅します
- [AUTO POWER OFF = * min]: “*”にはメニュー「[SETUP] - [SYSTEM] - [AUTO POWER OFF]」で設定されている時間が表示されます。またメニュー設定を「OFF」にするとAUTO POWER OFFは表示されません。



電源をOFFにする

電源ONの状態ですべてのボタンを2秒以上押し続けると、電源がOFFになります。電源OFF処理中はPOWERランプが点滅し、その後POWERランプが消灯します。

◆NOTE:

- バッテリーエラーが発生している状態のときは、一度電源をOFFにした後、充電したバッテリーに交換するか、ACアダプターに切り替え、再度電源をONにしてください。

動作中の自動電源オフについて

本機は、記録、再生、コピーおよびフォーマットなどの動作をしていない状態がしばらく経過すると自動的に電源がOFFになる機能があります。自動でOFFになった後でご使用になるときは、再度電源をONにしてください。

◆NOTE:

- 電源を自動的にOFFにするまでの時間は、メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「AUTO POWER OFF」(→「設定メニュー」Vol.2 51 ページ)で設定できます。

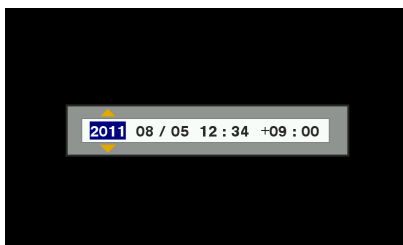
年月日・時刻を合わせる

本機を最初に使用する前に時計の設定を行います。

1 本機の[POWER] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする

2 [MENU] ボタンを押してメニューを開く
(→「メニューの操作」30 ページ)

3 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「CLOCK SET」を選択し、[SET] ボタンを押す
時計の設定画面が表示されます。初期値は現在時刻です。



4 [左]/[右] 十字カーソルボタンで設定したい部分にカーソルを移動する

- 年/月/日/時/分/タイムゾーンの順で表示されています。
- タイムゾーンでは、グリニッジ標準時間からの時差を設定します。
- 時刻は24時制で表示しています。

5 [上]/[下] 十字カーソルボタンで年月日・時刻・タイムゾーンを設定する

6 設定後、[SET] ボタンを押す
[SET] ボタンを押すことで変更した時刻が時計に設定されます。

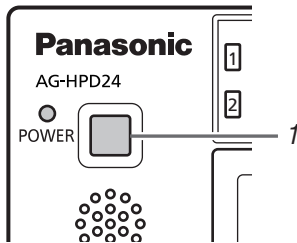
◆NOTE:

- 時刻には誤差が生じますので、使用前に時間が合っているか確認してください。
- 正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に、時刻確認、再設定を行ってください。
- 設定画面の表示順はメニュー「SETUP」-「THUMBNAIL」-「DATE FORMAT」の設定に応じて変化します
- 3D録再モードおよび同期再生モードのときはモード動作の間はスリープ側はマスター側の時刻設定に同期し、モード解除後は元の時刻に戻ります。

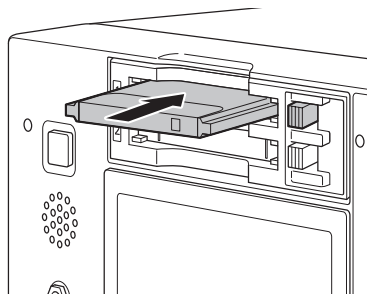
基本の操作

P2カードについて

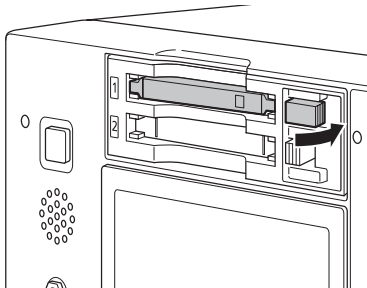
P2カードの挿入



- 1 本機の[POWER] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする
- 2 P2カードスロットにP2カードを挿入し、[EJECT] ボタンが飛び出てくるまでP2カードを押し入れる



- 3 飛び出た[EJECT] ボタンを右に倒す



P2カードアクセスランプとP2カードの状態について

P2カード アクセスランプ	P2カードの状態
緑色に点灯	書き込み / 読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	書き込み / 読み出しとも可能で、現在記録(LOOP RECを含む)の対象になっています。
オレンジ色の点滅	現在、書き込み / 読み出し中です。 USB デバイスモードでP2カードにアクセス中です。
NOTE: <ul style="list-style-type: none">• 記録時など、オレンジ色の点滅時は、本体の電源をOFFにしたり、P2カードを抜いたりしないでください。	
オレンジ色の早い点滅	P2カード認識中です。
緑色の点滅	P2カードのメモリ残量がありません。読み出しのみ可能です。 P2カード内のクリップ数が上限に達しています。読み出しのみ可能です。 P2カードのライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっています。読み出しのみ可能です。
消灯	P2カードが正規にフォーマットをされていません。本機でフォーマットをやり直してください。 本機では使用できないカードです。カードを交換してください。 P2カードが挿入されていません。 USB デバイスモードでP2カードにアクセスしていません。

P2カードと記録時間について

P2カードの記録時間

■ 64 GBカード1枚使用時

HDモード

映像方式	記録方式と記録時間		
	DVCPRO HD	AVC-Intra 100	AVC-Intra 50
1080-59.94 / 50i*1	約64分	約64分	約128分
1080-24PN(Native)	----	約80分	約160分
720-59.94P / 50P*1	約64分	約64分	約128分
720-24PN(Native)	約160分	約160分	約320分

*1: DVCPRO HDの30P, 24P, 25Pプルダウン時を含む

SDモード

映像方式	記録方式と記録時間		
	DVC PRO50	DVC PRO*2	DV*2
480-59.94i / 576-50i*3	約128分	約256分	約256分

*2: オーディオ2 CH記録時

*3: 30P, 24P, 25Pプルダウン時を含む

◆ NOTE:

- AJ-P2C002SG(2 GB)は使用できません。
- 32 GBのP2カードは上記の値を1/2に、16 GBのP2カードは1/4に、8 GBのP2カードは1/8に換算してください。
- 3D録再モードで記録する場合には、上記の値より短くなる場合があります。

■ P2カードおよびSD / SDHCメモリーカードの最新情報について

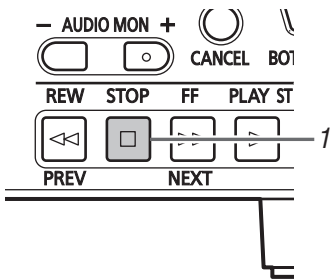
取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、WebサイトよりP2のサポートページをご覧ください。(→「ウェブサイトURLについて」2 ページ)

4 GB超でのクリップの分割について

本機で8 GB以上のP2カードを使用したとき、1回の連続記録時間が以下の表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を続けます。なお、P2機器にてクリップのサムネール操作(表示、削除、修復、コピーなど)を行うときは、1つのクリップとして操作できます。ノンリニア編集ソフトおよびパーソナルコンピュータなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録フォーマット	記録時間
DVCPRO HD	約5分
DVCPRO50	約10分
DVCPRO / DV	約20分
AVC-Intra 50	約10分
AVC-Intra 100	約5分

P2カードの取り出し

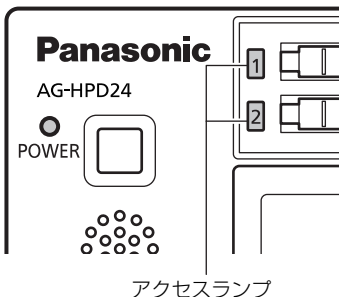


1 [STOP] ボタンを押す

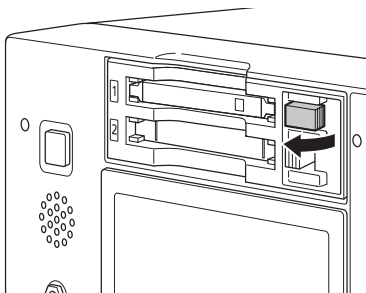
取り出したいP2カードのアクセスランプがオレンジ色に点滅しているときは、[STOP]ボタンを押して記録、再生動作を停止させるか、クリップコピー、削除など現在動作中の動作を中断させるか終わるまで待ってください。

◆NOTE:

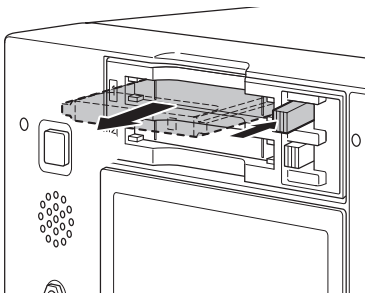
- USBデバイスモードでは、アクセスランプが消灯していることを確認してください。



2 [EJECT] ボタンを起こす

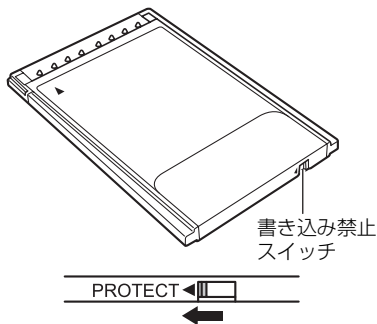


3 [EJECT] ボタンを押し込んで、P2カードを取り出す



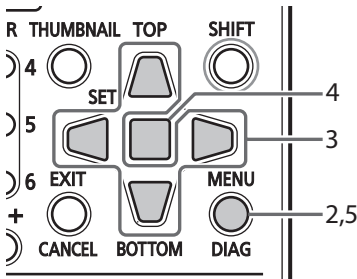
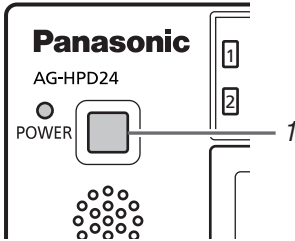
誤消去を防ぐには

P2カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にしてください。



メニューの操作

メニューは次のように操作します。



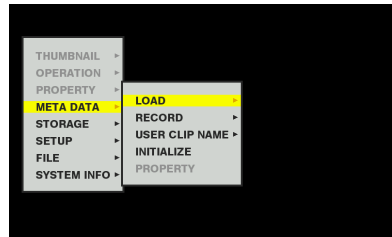
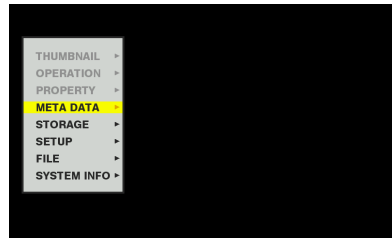
1 本機の[POWER] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする

2 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する

3 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで該当のメニュー項目にカーソルを合わせる
次の階層にメニューがある場合はメニュー項目に「▶」が表示されています。

◆NOTE:

- [上]/[下] 十字カーソルボタンを押すとカーソルが上下します。
- [右] 十字カーソルボタンまたは[SET] ボタンを押すと、下位のメニューが開きます。
- [左] 十字カーソルボタンまたは[EXIT] ボタンで上の階層へ戻ります。



4 [SET] ボタンを押す

◆NOTE:

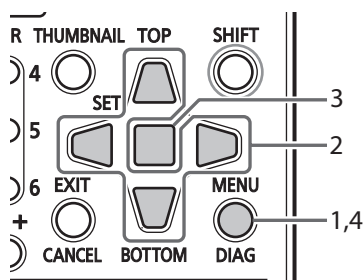
- メニュー項目によっては、確認画面が表示されます。
- [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで処理を選択し、[SET] ボタンを押します。
- 設定した項目には、項目の前にチェックマークがつきます。
- 一部のメニューでは、数値設定のための画面が表示されます。
- システムの周波数設定が変わる場合は再起動が必要となります。

5 [MENU] ボタンを押し、メニューを終了する

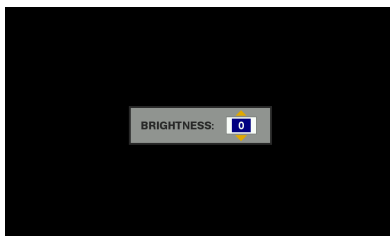
◆NOTE:

- メニュー項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

液晶モニターの設定



- 1 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する
- 2 メニュー「SETUP」-「LCD」のLCD調整項目にカーソルを合わせる
「BACKLIGHT」、「COLOR LEVEL」、
「BRIGHTNESS」、「CONTRAST」などの調整
ができます。



- 3 [SET] ボタンを押し
選んだ項目を[上]/[下] 十字カーソルボタン
で調整を行い、[SET] ボタンで確定します。

◆NOTE:

- 調整中に[RESET] ボタンを押すと調整値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- 4 [MENU] ボタンを押し、メニューを終了する

サムネール画面の表示

本機にはクリップを管理するためのサムネール画面があります。「クリップ」とは、画像、音声、メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。通常は記録を開始して停止するまでの、1回の記録によって生成される「1ショット」が「1クリップ」になります。複数のP2カードにまたがったショットについても単一クリップとして扱われます。

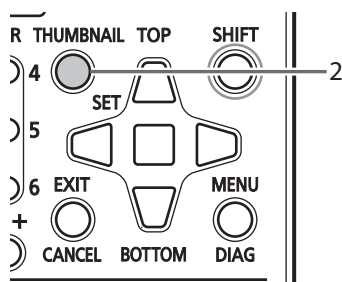
サムネール画面には、各クリップに記録されたサムネールが一覧表示されます。このサムネールを確認しながら、以下の操作を行ってクリップを管理できます。

- クリップの再生、コピー、削除、修復
- クリップにテキストメモを付加
- テキストメモの確認と削除
- ショットマークの表示と消去
- P2カードのフォーマット
- クリップのプロパティ表示
- P2カードの状態表示

◆NOTE:

- サムネールは、実際の映像の一部成分から生成されています。そのため実際の映像より荒いものとなります。

サムネール画面を表示する



- 1 本機の[POWER] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする

◆NOTE:

- メニュー「[SETUP] - 「BASIC」 - 「POWER ON GUI」で「THUMBNAIL」を選択している場合は、電源を入れるとサムネール画面が表示されます。

- 2 [THUMBNAIL] ボタンを押す
液晶モニターにサムネール画面が表示されず。
再度[THUMBNAIL] ボタンを押すとサムネール画面が閉じ、録再画面表示(ビデオ映像)となります。

◆NOTE:

- メニュー「[SETUP] - 「DISPLAY」 - 「OSD OUTPUT」の設定で、VIDEO OUTやSDI OUTに出力することができます。
設定フォーマットや周波数により、出力できる端子に制限があります。



記録する

1 本機の[POWER] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする

必要に応じてメニューで記録する周波数やフォーマット、入力信号などを設定します。(→「入力/出力対応フォーマット一覧」Vol.2 77 ページ)

2 P2カードを挿入する

3 [REC] ボタンを押しながら[PLAY] ボタンを押す

P2カードアクセスランプがオレンジ色に点灯しているスロットに、記録を開始します。

◆NOTE:

- サムネール画面を開いているときは記録できません。サムネール画面を閉じてから記録を行ってください。

4 [STOP] ボタンを押して記録を停止する

- 記録の詳細およびさまざまな記録については、以下を参照してください。
(→「クリップを記録する」Vol.2 6 ページ、
→「記録音量調整について」Vol.2 6 ページ)

再生する

録再画面(サムネール画面オフ)からの再生

1 本機の[POWER] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする

必要に応じてメニューでシステム周波数を設定します。(→「設定メニュー/SYSTEM」Vol.2 72 ページ)

2 P2カードを挿入する

3 [PLAY] ボタンを押す

カードの記録時間順に再生が始まります。
[FF] / [REW] ボタンを押すと早送り / 早戻し再生を、[STILL / PAUSE] ボタンを押すと静止します。
その他特殊再生などについては(→「可変速再生を行う」Vol.2 44 ページ)を参照してください。

4 [STOP] ボタンを押して再生を停止する

サムネール画面からの再生

再生ボタンを押したときのカーソル(黄色枠)位置のクリップの先頭から再生を行います。サムネール画面時はクリップの選択や表示の切り替えにより再生クリップを限定したり再生順序を変更したりすることができます。(→「クリップを再生する」Vol.2 39 ページ)

- サムネール画面の表示については、(→「サムネール画面の表示」32 ページ)を参照してください。

タイムコード・ユーザースビット・CTLについて

タイムコード

「タイムコード」は、タイムコードジェネレーターによって発生されるタイムコード信号を記録します。タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24

↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザースビット

「ユーザースビット」は、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことで、オペレーターナンバーなどを記録することができます。ユーザースビットに使用できる数字(文字)は0~9とABCDEFです。

CTL

再生時は、先頭から再生する相対位置が表示されます。記録時は、カウンター値が「0:00:00:00」から開始されます。記録終了時は、先頭からの相対位置が表示されます。

◆NOTE:

- メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」が「23.98 Hz」、「24 Hz」、「59 - 23」、「60 - 24」のときには再生画とCTLが1フレームずれることがあります。
- タイムコードの設定などの詳細は(→「タイムコード/ユーザースビットの設定」Vol.2 48 ページ)を参照してください。
- 表示内容の詳細は(→「画面の表示」Vol.2 45 ページ)を参照してください。

外部機器との接続

USBデバイス

パーソナルコンピューターなどと本機をUSB2.0で接続することにより、本機のP2カードスロットに挿入されたP2カードをマスタストレージとして扱うことができます。このとき、パーソナルコンピューターには、USB専用ドライバーをインストールする必要があります(USB2.0でご使用ください)。また、弊社がWebサイト(→「ウェブサイトURLについて」2ページ)で無償配布しているP2ビューアーなどを使用すると、P2カードに記録されたクリップを、パーソナルコンピューターで操作できます。
(→ 「USBデバイスモード」Vol.2 37 ページ)

- USBデバイスモードへの切り替えは、[MODE] ボタンを押し、[上] / [下] 十字カーソルボタンにて「USB DEVICE」に合わせ、[SET] ボタンを押してください。

USB HOST

USB2.0やUSB3.0対応のストレージデバイスをUSB3.0 HOST(「スロット他」19 ページの図上5)端子へ接続して、P2カードデータをストレージデバイスへ保存したり、保存したクリップサムネールの閲覧、P2カードへの書き戻しを行うことができます。また、ストレージデバイス上のクリップを簡易再生して内容を確認することができます。USB3.0 HOST端子はメニュー「STORAGE」 - 「UBS HOST」で、「ENABLE」(有効)を選択したときにストレージデバイスを接続して利用できます。
(→ 「USB HOST端子で外部機器と接続する」Vol.2 27 ページ)

◆NOTE:

- メニュー「STORAGE」 - 「UBS HOST」設定を「ENABLE」(有効)にすると記録は行われません。
- USB HOST端子はメインモードのときのみ有効になります。
- 「ENABLE」設定は、電源をOFFすると「DISABLE」に戻ります。
- USB3.0対応のストレージデバイスに接続する場合、USB3.0規格に準拠したケーブルをご使用ください。
- USB2.0用のケーブルを使用した場合、ストレージデバイスはUSB2.0として認識されます。

3D信号の記録再生を行う

AG-HPD24を2台接続し、[MODE] ボタンを押して、3D録再モード「3D REC / PB」に切り替えることにより、それぞれのP2カードに3D信号の同期記録(Dual P2 3D Recording)を行うことができます。また、本機の3D録再モードで記録したコンテンツ(Dual P2 3Dクリップ)を3Dとして再生することができます。マスター側は左目(L)の信号を、スレーブ側は右目(R)の信号を入出力し、記録再生を行います。

◆NOTE:

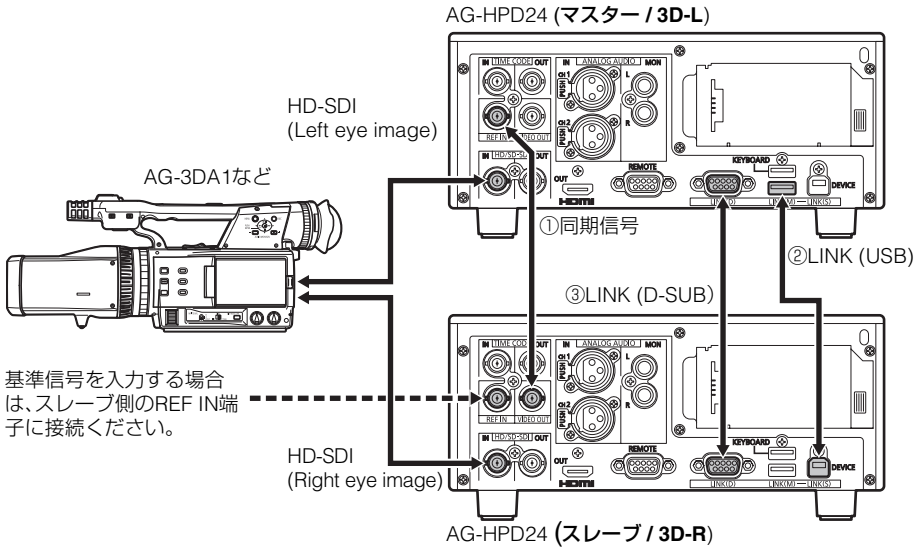
- マスター側に左目(L)信号、スレーブ側に右目(R)信号を正しく接続してください。信号の左右(L / R)を逆に接続すると、記録したコンテンツを含めて逆視状態となり、眼精疲労を起こす原因となります。
- 左目(L)信号を記録したP2カードは、マスター側のP2カードスロットに挿入し、右目(R)信号を記録したP2カードは、スレーブ側のP2カードスロットに挿入してください。

Dual P2 3Dクリップ:

2枚のP2カードに3D映像を記録するP2コンテンツ仕様に準拠したクリップ

接続

記録の接続例



	マスター (L)側端子	スレーブ (R)側端子	備考
①	REF IN	VIDEO OUT	BNCケーブル
②	LINK(M) USB タイプA	LINK(S) USB タイプB	USB2.0ケーブル
③	LINK(D) D-SUB 9P	LINK(D) D-SUB 9P	RS - 422A規格準拠ケーブル使用 ケーブル長:1 m以下

マスター側、スレーブ側を、それぞれを図のように接続します。この状態で本機を3D録再モード (3D REC / PB) に切り替えると、本機は3D映像クリップを記録・再生が可能な3D録再モードで動作します。

マスター側の[REC] ボタンを押しながら[PLAY] ボタンを押すことで、入力している信号をDual P2 3Dクリップとして記録を行います。また再生時に外部システムとの同期をとるなど必要に応じて基準信号をスレーブ機のREF IN端子へ接続します。

◆NOTE:

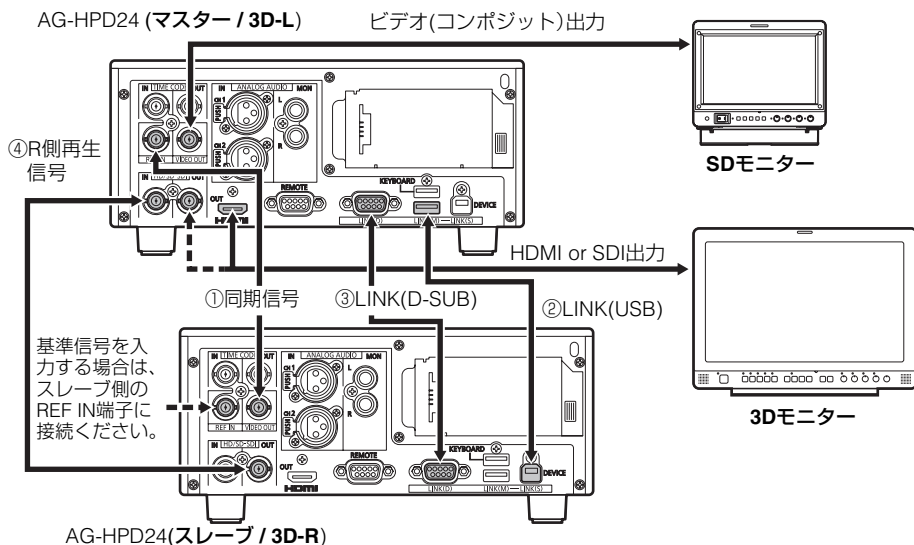
- L(左)、R(右)の入力出力信号を正しく接続してください。L、Rの接続を逆にすると逆視状態となり、眼精疲労を起こす原因となります。

再生の接続例

3D映像を表示するため、3Dのモニターと接続する場合には、モニターの種類または表示方式により信号線や信号の形態を変える必要があります。本機ではメニュー「[SETUP] - [VIDEO] - [OUTPUT SEL]」で出力できる端子や信号形態を以下のように切り替えます。

OUTPUT SEL	SDI OUT端子	HDMI OUT端子
DISCRETE L/R	左右個別出力	無出力
SDI(S/S)	サイドバイサイド(ハーフ)方式出力	無出力
HDMI(S/S)	無出力	サイドバイサイド(ハーフ)方式出力
HDMI(FP)	無出力	フレームバッキング方式出力

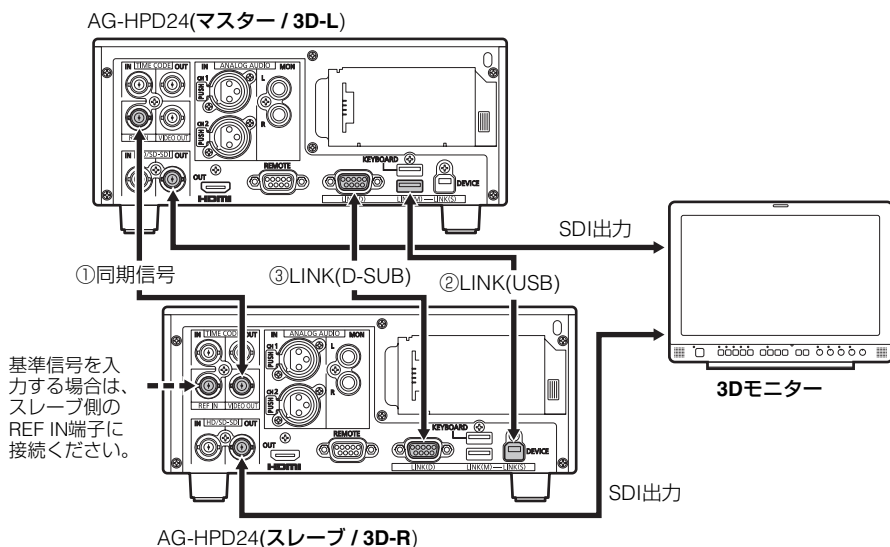
3Dシングル信号出力(サイドバイサイド・フレームバッキング方式)の接続例



マスター側、スレーブ側を、それぞれを図のようにLINK(USB)(USB2.0)ケーブル、LINK(D-SUB)(RS-422A / D-SUB9P)ケーブル、同期信号線(BNCケーブル)で接続します。この状態で本機を3D録再モードに切り替えると本機は3D再生が可能となります。マスター(L)側のSDIまたはHDMI出力端子から3Dのサイドバイサイドあるいはフレームバッキング(HDMIのみ)信号を出力し、3D対応モニターにて3D映像を視聴することができます。

	マスター(L)側端子	スレーブ(R)側端子	備考
①	REF IN	VIDEO OUT	BNCケーブル
②	LINK(M) USBタイプA	LINK(S) USBタイプB	USB2.0ケーブル
③	LINK(D) D-SUB 9P	LINK(D) D-SUB 9P	RS-422A規格準拠ケーブル使用 ケーブル長: 1 m 以下
④	SDI IN	SDI OUT	BNCケーブル

左右個別信号出力の接続例



マスター側、スレーブ側を、それぞれを図のようにLINK(USB)(USB2.0)ケーブル、LINK(D-SUB)(RS-422 / D-SUB9P)ケーブル、同期信号線(BNCケーブル)で接続します。この状態で本機を3D録再モードに切り替えると本機は3D再生が可能となります。再生するとマスター(L)側のSDI出力端子から3Dの左目画像を、スレーブ(R)側のSDI出力端子から3Dの右目画像を出力し、3D(サイマル方式)対応モニターにて3D映像を視聴することができます。

	マスター(L)側端子	スレーブ(R)側端子	備考
①	REF IN	VIDEO OUT	BNCケーブル
②	LINK(M) USB タイプA	LINK(S) USB タイプB	USB2.0ケーブル
③	LINK(D) D-SUB 9P	LINK(D) D-SUB 9P	RS-422規格準拠ケーブル使用 ケーブル長: 1 m以下

3D録再モードへの切り替え

1 接続例を元に適切なケーブルで2台を接続する

◆NOTE:

- 3D録再モードではシステムの周波数は変更できません。モードを切り替える前に設定をしてください。
- マスター側、スレーブ側の周波数は同じ設定にしてください。
- システムの周波数が「59 - 23」、「60 - 24」に設定されている場合は3D録再モードに切り替えることはできません。ご使用の周波数へ変更してから、3D録再モードに変更してください。

2 マスター側の機器にて、[MODE] ボタンを押す

モード選択メニューが表示されます。



3 [上] / [下] 十字カーソルボタンを使用し、「*」を「3D REC / PB」に合わせ、[SET] ボタンを押す

4 マスター側、スレーブ側ともシステムが再起動し3D録再モードに切り替わる

◆NOTE:

- 3D録再モードは状態が内部に保存されるため、電源を入れなおしても前回のモードで立ち上がりませす。メインモードに戻るには、接続待ち状態で電源を切る、または、3D録再モード起動後に[MODE] ボタンを押します。
- LINK関係のケーブルが接続されていない場合は、接続待ち状態で待機します。
(→「3D録再モードおよび同期再生モード起動中のワーニング情報の表示」Vol.2 87 ページ)



- LINK関連のケーブルが外れるなど接続が途切れた場合はエラーとなります。再度ケーブルなどの接続を行い、電源を入れなおしてください。
(→「ワーニングおよびエラーメッセージ」Vol.2 82 ページ)
- 接続した機種や機器のバージョンが異なる場合はエラーとなります。
- 間違えて3D録再モードに切り替えて接続待機状態になった場合は、一度電源を切ると次は通常のメインモードで起動します。

電源の入れかた・切りかた

電源をONにする

電源がOFFの状態ですべてのボタンを1秒以上押し続けると、電源がONになります。起動後はPOWERランプが緑色に点灯します。

◆NOTE:

- マスター側の電源を入れてもスレーブ側は起動しません。マスター側・スレーブ側両方の機器の電源を入れてください。
- 電源を切る前に3D録再モードで使用していた場合は、自動的に3D録再モードで起動します。
- 起動中は通常の起動メッセージに続き3D録再モード起動のメッセージが表示されます。

電源をOFFにする

電源ONの状態ですべてのボタンを2秒以上押し続けると、電源がOFFになります。電源OFF処理中はPOWERランプが点滅し、その後POWERランプが消灯します。

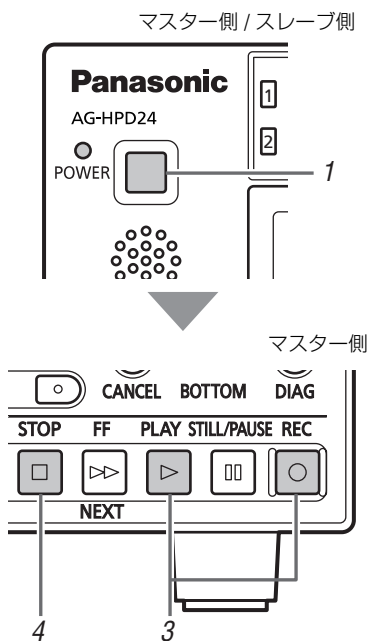
◆NOTE:

- マスター側・スレーブ側どちらかの機器の電源をオフすると両方の機器の電源がオフされます。

記録と再生

3D録再モード起動後の操作は、すべてマスター側の機器で行います。スレーブ側で操作はできません。

記録する



- 1 マスター側、スレーブ側両機の[POWER] ボタンを1秒以上押し、電源をONにするフォーマット、入力信号などを設定します。(→「設定メニュー」Vol.2 51 ページ)

◆NOTE:

- 記録する周波数はあらかじめメインモードのときに設定しておきます。
- 3Dを記録できるフォーマットはAVC-Intraのみです。

- 2 マスター側、スレーブ側の両機とも同じスロットにP2カードを挿入する

◆NOTE:

- マスター、スレーブ両機のカード挿入の確認を行うため、通常のメインモードよりカードの認識、記録の準備に時間がかかります。記録準備ができていない場合は「CANNOT REC」や「E-62 SLAVE WARNING」が表示されることがあります。

- 3 マスター側の[REC] ボタンを押しながら [PLAY] ボタンを押す
P2カードアクセスランプがオレンジ色に点灯しているスロットに記録を開始します。

◆NOTE:

- サムネール画面を開いているときは記録はできません。サムネール画面を閉じてから記録を行ってください。
- 3Dシングル信号出力(サイドバイサイド・フレームパッキング)に設定されているときは記録はできません。
- LOOP REC、バリアブルフレームレート記録はできません。
- マスター側、スレーブ側の両機ともに記録可能(ライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっているなどの記録禁止でない状態)なスロットにのみ記録できます。
- マスター側、スレーブ側 両機の各スロットの少ない残量をもとに3D記録できる残量が決まります。

- 4 [STOP] ボタンを押して記録を停止する

再生する

再生画面はPLAYおよびSTILL状態のみ3Dの映像をSDIまたはHDMIへ出力します。

● 左右個別信号出力方式:

特殊再生の映像は液晶モニターのみに表示され、SDIへは出力されません。

ただし、メニュー「SETUP」-「VIDEO」-「DISCRETE BLACK」が「OFF」のときはマスター側のSDI出力にのみ映像を出力します。

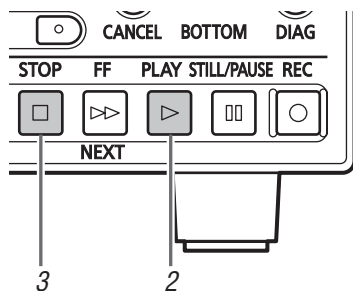
● 3Dシングル(サイドバイサイド、フレームパッキング)信号出力方式:

特殊再生の映像は液晶モニターにはLRともに表示を行い、SDI/HDMIへはLの映像のみ(Rの映像もLの映像)を出力します。

◆NOTE:

- 再生するクリップはマスター側、スレーブ側で異なるスロットであっても構いませんが、LとRがそろっている必要があります。
- L(左目)の映像クリップはマスター側に、R(右目)の映像クリップはスレーブ側に挿入しないと3D再生されません。

録再画面(サムネール画面オフ)からの再生



- 1 P2カードを挿入する
- 2 [PLAY] ボタンを押す
カードの記録時間順に再生が始まります
- 3 [STOP] ボタンを押して再生を停止する

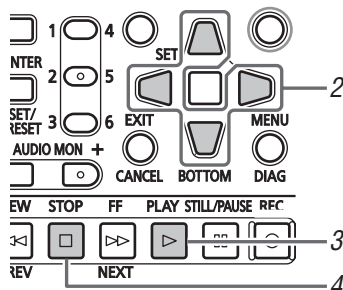
サムネール画面からの再生

再生ボタンを押したときのカーソル(黄色枠)位置のクリップから再生を行います。サムネール画面表示時はクリップの選択や表示の切り替えにより再生クリップを限定したり再生順序を変更したりすることができます。

(→「3D録再モード(3D REC/PB)」Vol.2 38 ページ)

◆NOTE:

- クリップ番号が黒色のクリップが再生可能なクリップです。
- メニュー「THUMBNAIL」-「SLOT CLIPS」によるスロット指定は3D録再モードでは対応していません。



- 1 P2カードを挿入する
- 2 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、再生したいクリップにカーソルを合わせる
- 3 [PLAY] ボタンを押す
サムネールの表示順に再生を行います。
- 4 [STOP] ボタンを押して再生を停止する
停止後サムネール画面表示へ切り替わります。

3Dのサムネールを表示する

通常のサムネールと同様にサムネール表示を行うことができます。

サムネール画面を表示する

1 マスター側およびスレープ側両機の[POWER] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする

◆NOTE:

- メニュー「[SETUP] - 「BASIC」 - 「POWER ON GUI」で「THUMBNAIL」を選択している場合は、電源を入れるとサムネール画面が表示されます。

2 [THUMBNAIL] ボタンを押すサムネールが表示されます。再度[THUMBNAIL] ボタンを押すとサムネール画面表示が閉じ、録再画面表示(ビデオ映像)となります。

サムネール画面の各部の名称

◆NOTE:

- メインモードのサムネール画面と異なる点について記載しています。その他の詳細は(→「サムネール画面」Vol.2 10ページ)を参照してください。
- サムネール画面には本機あるいは3D対応のP2機器にて記録したDual P2 3Dクリップのみを表示します。通常のP2クリップは表示されませんので間違ってもフォーマットなどで消してしまわないようお気をつけください。



1) 「3D」ロゴ

3Dのサムネールを表示している状態を示します。

2) スロット状態表示

Mにはマスター側、Sにはスレープ側のP2カードの状態を表示します。表示内容の詳細は(→「サムネール画面」Vol.2 10ページ)を参照してください。

3) バッテリー残量表示

マスター側のバッテリー残量を表示します。

◆NOTE:

- スレープ側のバッテリー残量は、スレープ側に表示されます。

4) Dual P2 3D クリップ異常状態インジケーター

L/R 誤挿入など、Dual P2 3D クリップとして問題がある場合に表示されます。



: Lのクリップがスレープ側の機器、またはRのクリップがマスター側の機器に挿入されています。正しく挿入しなおしてください。



: LまたはRのクリップが挿入されていません。不足しているクリップを挿入してください。

同期再生を行う

Dual P2 3Dクリップとして記録されていない3Dコンテンツのクリップを再生するときに、LとRの2つのクリップをこの「同期再生モード(SYNC PB)」を使用して再生します。AG-HPD24 2台を3D録再モードと同じように接続し、[MODE] ボタンを押して、同期再生モード(SYNC PB)に切り替えることにより、マスター側の再生操作に同期してスレーブ側が動作し、同期した映像の再生を行うことができます。なおこのモードでは、記録やコピー、削除など再生以外のクリップ操作はできません。

Dual P2 3Dクリップとして記録されていない3Dコンテンツのクリップ:

AG-3DA1の3D素材をP2にダビングしてAJ-HPM200などで開始点や長さをそろえたクリップや、ノンリニアエディターで編集後P2機器(非Dual P2 3Dコンテンツ記録機)へダビングされたクリップ。
このLとRのクリップはタイムコードの開始点や長さ、ならびにクリップの並び順が一致している必要があります。

◆NOTE:

- 左目(L)信号を記録したP2カードは、マスター側のP2カードスロットに挿入し、右目(R)信号を記録したP2カードは、スレーブ側のP2カードスロットに挿入してください。

接続

接続については3D録再モードと同じです。(→「3D信号の記録再生を行う」内の「接続」37ページ)

同期再生モードへの切り替え

1 接続例に従って2台の機器を接続する

◆NOTE:

- 同期再生モードではシステムの周波数は変更できません。モードを切り替える前に設定をしてください。
- マスター側、スレーブ側の周波数は同じ設定にしてください。
- システムの周波数が「59 - 23」、「60 - 24」に設定されている場合は同期再生モードに切り替えることはできません。ご使用の周波数へ変更してから、同期再生モードに変更してください。

2 マスター側の機器にて、[MODE] ボタンを押す

モード選択メニューが表示されます。



3 「SYNC PB」を選択する

[上]/[下] 十字カーソルボタンを使用し、「*」を「SYNC PB」に合わせ、[SET] ボタンを押します。

4 マスター側、スレーブ側ともシステムが再起動し同期再生モードに切り替わる

◆NOTE:

- 同期再生モードは内部に保存されるため、電源を入れなおしても前回のモードで立ち上がります。メインモードに戻るには、接続待ち状態で電源を切る、または、同期再生モード起動後に[MODE]ボタンを押します。
- LINK関係のケーブルが接続されていない場合は、接続待ち状態で待機します。
- LINK関係のケーブルが外れるなど接続が途切れた場合はエラーとなります。再度接続を行い、電源を入れなおしてください。(→「ワーニングおよびエラーメッセージ」Vol.2 82ページ)
- 接続した機種や機器のバージョンが異なる場合はエラーとなります。

- 間違えて同期再生モードに切り替えて接続待ち状態になった場合は、一度電源を切ると次は通常のメインモードで起動します。
- 電源の入れかた・切りかたは3D録再生モードと同様です。(→「電源の入れかた・切りかた」40 ページ)



再生

同期再生モード起動後の操作は、すべてマスター側の機器で行います。スレープ側での操作はサムネールボタンを押したサムネール画面の表示切替のみ行えます。

正しく同期再生するには

2台の機器のクリップをクリップ番号の順番に同期して再生しますが、クリップ間を正しく同期するには以下の点にお気をつけください。

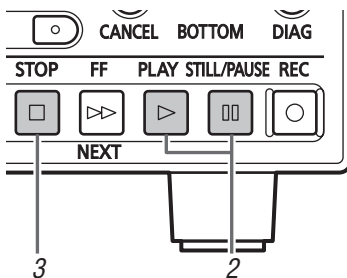
- **クリップの並び順について**
再生は記録された順番に行います。従って、対となるクリップの記録日時は同じにして、同じ数のクリップをそれぞれのP2カードに入れてください。記録日時や、クリップ数が異なる場合は再生順がマスター側 / スレープ側で異なってしまい、正しく再生できない原因となります。
- **クリップの長さについて**
同じ対のクリップには、開始点と長さを合わせた映像のクリップを入れてください。長さが異なるとそのクリップ以降の再生が正しく行えません。
- **クリップのタイムコード**
同じ対のクリップは、同じタイムコードが連続となるように記録をしてください。タイムコードが異なる、または不連続である場合には再生の頭だしが正しく行えず、正しく再生できない原因となります。

◆NOTE:

- クリップを正しく再生できないときはワーニングが表示され、SDI出力はミュートされブラック出力 (DISCRETE L/R設定のとき) またはLの画像のみ出力 (サイドバイサイド、フレームパッキング設定のとき) となります。
- 異なるフォーマットのクリップが混在しているときも再生は行いますが、異なるフォーマットのクリップ間是不連続となり、それ以降正しく再生されないことがあります。

- 開始、終了タイムコードが異なるクリップの始終端へのクリップ頭だしおよびコマ送り操作では、不連続なタイムコードとなってエラー表示されることがあります。このような状態から復帰するには、一度 [STOP] ボタンを押して停止した後にサムネール画面で対になっているクリップを選択してから再度 [PLAY] ボタン、または [STILL / PAUSE] ボタンを押して正しく同期させてください。

再生画面(サムネール画面オフ)からの再生

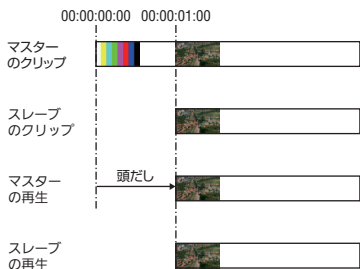


1 P2カードをマスター側およびスレープ側の両機に挿入する

2 マスター側の[PLAY] ボタン、または [STILL/PAUSE] ボタンを押す
ボタンを押したときにマスター側の位置へスレープ側を自動的に頭だし(同じクリップ番号の同じTC値)を行います。[PLAY] ボタンの場合はその後再生を開始します。

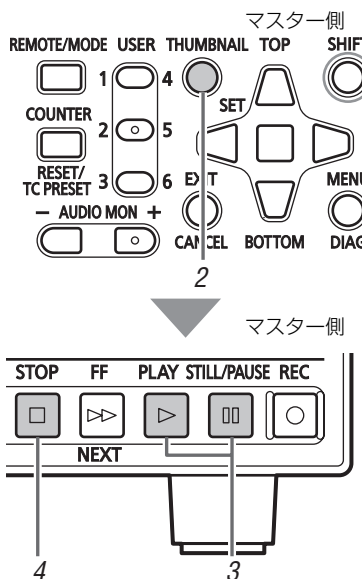
◆NOTE:

- マスター側のクリップの先頭位置がスレープ側より前の場合は、スレープ側の先頭の位置にマスター側を頭だします。



3 マスター側の[STOP] ボタンを押して再生を停止する

サムネイル画面からの再生



1 P2カードをマスター側およびスレーブ側の両機に挿入する

2 マスター側の[THUMBNAIL] ボタンを押し、再生したいクリップへカーソルを移動する

◆NOTE:

- 停止中の画像は表示されず、黒い画面となります。
- 信号出力方式は以下のとおりです。

左右個別信号出力方式:

特殊再生や左右が正しくない(TCが不一致など)映像は液晶モニターのみに表示され、SDIへは出力されません。

ただし、メニュー「SETUP」-「VIDEO」-「DISCRETE BLACK」が「OFF」のときはマスター側のSDI出力にのみ映像を出力します。

3Dシングル(サイドバイサイド、フレームパッキング)信号出力方式:

特殊再生や左右が正しくない(TCが不一致など)映像の場合、液晶モニターはL、Rともに表示を行い、SDI / HDMIへはLの映像のみ(Rの映像もLの映像)を出力します。

◆NOTE:

- サムネイルにはすべてのクリップが表示されます。
- スレーブ側はクリップの並びを確認するために「TUMBNAIL」ボタンと[上]/[下]/[左]/[右]十字カーソルボタンのみ操作することができます。ただし、スレーブ側のサムネイルを表示している場合は再生などの操作はできません。

3 マスター側の[PLAY] ボタン、または[STILL/PAUSE] ボタンを押す

ボタンを押したときにマスター側の同じクリップ番号の同じタイムコード値の位置へ、スレーブ側を自動的に頭だしを行ないます。[PLAY] ボタンの場合はその後再生を開始します。

◆NOTE:

- 両機のクリップのタイムコード値が異なっている場合は、正しく同期して再生できません。
- マスター側のクリップの先頭位置がスレーブ側より前の場合は、スレーブ側の先頭の位置にマスター側を頭だします。
- スレーブ側は、マスター側と同じクリップ番号のクリップから再生します。

4 マスター側の[STOP] ボタンを押して再生を停止する

◆NOTE:

- 停止中の画像は表示されず、黒い画面となります。

設定メニュー

THUMBNAIL	表示するサムネールの選択設定	Vol.2 51 ページ
OPERATION	フォーマットなどの各種処理	Vol.2 52 ページ
PROPERTY	クリップ詳細などの表示切替	Vol.2 54 ページ
META DATA	メタデータの設定と表示	Vol.2 55 ページ
STORAGE	ストレージデバイスの操作と表示	Vol.2 56 ページ
SETUP	各種設定	Vol.2 57 ページ
THUMBNAIL	サムネール関係の設定	Vol.2 57 ページ
BASIC	基本動作設定	Vol.2 60 ページ
TC/UB/CTL	タイムコード関係の設定	Vol.2 63 ページ
VIDEO	ビデオ関係の設定	Vol.2 64 ページ
AUDIO	オーディオ関係の設定	Vol.2 67 ページ
DISPLAY	表示関係の設定	Vol.2 68 ページ
LCD	LCD表示関係の設定	Vol.2 69 ページ
USER BUTTON	ユーザー定義ボタンの設定	Vol.2 70 ページ
SYSTEM	周波数などの機器設定	Vol.2 72 ページ
FILE	メニュー設定の保存・読み込み	Vol.2 74 ページ
SYSTEM INFO	機器情報の表示	Vol.2 76 ページ

定格

総合

電源電圧: DC 7.2 V / 7.9 V

消費電力: 19.8 W

は安全項目です。

動作周囲温度:	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度:	10 % ~ 80 % (結露なし)
保存周囲温度:	-20 °C ~ 50 °C
質量:	2 kg (バッテリーを除く) 2.3 kg (同梱バッテリー取り付け時)
外形寸法 (幅×高さ×奥行):	214 mm×88 mm×200 mm (セット足を除く)
記録メディア:	P2カード
記録フォーマット:	AVC-Intra 100 / AVC-Intra 50 / DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DVフォーマット切り替え ※3D記録はAVC-Intraのみ
記録ビデオ信号:	1080 / 59.94i, 1080 / 50i, 1080 / 23.98p, 1080 / 24p, 720 / 59.94p, 720 / 50p, 480 / 59.94i, 576 / 50i
記録オーディオ信号:	AVC-Intra 100 / AVC-Intra 50: 48 kHz 16 bit 8CH 48 kHz 24 bit 4CH DVCPRO HD: 48 kHz 16 bit 8CH DVCPRO50: 48 kHz 16 bit 4CH DVCPRO / DV: 48 kHz 16 bit 2CH / 4CH切替

記録時間:

カード	記録方法		
	AVC-Intra 100 / DVCPRO HD	AVC-Intra 50 / DVCPRO50	DVCPRO / DV
8 GB×1	約8分	約16分	約32分
16 GB×1	約16分	約32分	約64分
32 GB×1	約32分	約64分	約128分
64 GB×1	約64分	約128分	約256分

◆NOTE:

- 上記の時間は、いずれもP2カードに1クリップを連続記録したときのものであります。
- 記録するクリップ数によっては、記録できる時間は上記より短くなるときがあります。
- 3D録再モードで記録する場合には、上記より短くなるときがあります。

ビデオ

デジタルビデオ

サンプリング周波数:	AVC-Intra 100 / DVCPRO HD: (59.94 Hz) Y : 74.1758 MHz, P _B / P _R : 37.0879 MHz (50 Hz) Y : 74.2500 MHz, P _B / P _R : 37.1250 MHz
	DVCPRO50: Y:13.5 MHz, P _B / P _R : 6.75 MHz
	DVCPRO: Y: 13.5 MHz, P _B / P _R : 3.375 MHz
量子化:	AVC-Intra 100 / AVC-Intra 50:10 bit DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV: 8 bit
ビデオ圧縮方式:	AVC-Intra 100 / AVC-Intra 50: MPEG-4 AVC / H.264 Intra Profile DVCPRO HD: DV-Based Compression (SMPTE 370M) DVCPRO50 / DVCPRO: DV-Based Compression (SMPTE 314M) DV: DV Compression (IEC61834-2)
カラーサンプリング:	AVC-Intra 100: Y : P _B : P _R = 4 : 2 : 2
解像度:	AVC-Intra 100: 1920×1080 (1080 / 59.94i, 1080 / 50i) 1280×720 (720 / 59.94p, 720 / 50p) AVC-Intra 50: 1440×1080 (1080 / 59.94i, 1080 / 50i) 960×720 (720 / 59.94p, 720 / 50p)

ビデオ入力信号

リファレンス入力:	BNC×1、ブラックバースト / HD3値SYNC自動切り替え*1
SDI入力:	BNC×1

*1: 3D録再モードおよび同期再生モードでは、メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」が、「59.94Hz」「50Hz」設定の場合、ブラックバーストのリファレンス信号入力のみ受け付けます。
「23.98Hz」「24Hz」設定の場合、HD3値SYNCのリファレンス信号入力のみ受け付けます。

ビデオ出力信号

SDアナログコンポジット出力:	BNC×1
HDシリアルデジタル / SDシリアルデジタル出力 (切り替え式):	BNC×1
HDMI端子:	HDMI×1 (HDMI TYPE A端子)3D対応 (ピエラリンク非対応) <ul style="list-style-type: none">・ SYSTEM FREQUENCYが59.94 Hzのとき 1080 / 59.94i Frame Packing / Side by Side切替 (3Dのみ) 720 / 59.94p Frame Packing / Side by Side切替 (3Dのみ) 1080 / 59.94i, 720 / 59.94p, 480 / 59.94p・ SYSTEM FREQUENCYが50 Hzのとき 1080 / 50i Frame Packing / Side by Side切替 (3Dのみ) 720/50p Frame Packing / Side by Side切替 (3Dのみ) 1080 / 50i, 720 / 50p, 576 / 50p・ SYSTEM FREQUENCYが23.98 Hzのとき 1080 / 23.98p Frame Packing / Side by Side切替 (3Dのみ)
◆NOTE: <ul style="list-style-type: none">・ HDMI出力は480i / 576iに対応していません。480p / 576pに変換して出力します。	

オーディオ

デジタルオーディオ

サンプリング周波数:	48 kHz (ビデオに同期)
量子化:	16 bit (DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV) 16 bit / 24 bit切り替え可能 (AVC-Intra 100 / AVC-Intra 50)
ヘッドルーム:	12 / 18 / 20 dB (切り替え可能)
ディエンファシス:	T1=50 μ s, T2=15 μ s (ON / OFF自動切り替え)

オーディオ入力信号

アナログ入力 (CH1, CH2):	XLR×2
SDI入力:	BNC×1

オーディオ出力信号

SDI出力:	BNC×1
モニター出力:	ピンジャック×2、-10 dBV、600 Ω
ヘッドホン出力:	ステレオミニジャック (3.5 mm径)、8 Ω 、レベル可変
HDMI出力:	2 CH (リニアPCM)
内蔵スピーカー:	丸型×1 (モノラル)

その他入出力

タイムコード入力:	BNC×1、0.5 V[p-p]~8.0 V[p-p]、10 kΩ
タイムコード出力:	BNC×1、ローインピーダンス、2.0 V±0.5 V[p-p]
RS-422A入出力:	D-SUB 9pin×1、RS-422Aインターフェース
USB HOST:	USB3.0 (TYPE A)×1
USBデバイス / 3D録再モード / 同期再生モード用接続:	USB2.0 DEVICE (TYPE B)×1
3D録再モード / 同期再生モード用接続:	D-SUB 9pin×1、RS-422Aインターフェース
キーボード用:	USB2.0 (TYPE A)×1 (定格100 mAまで使用可)


◆NOTE:

- この端子はキーボード接続用に設計されています。消費電流が100 mAを超えるキーボードをご使用になると、保護回路が動作し、本体の電源がOFFになる場合があります。

ACアダプター

定格入力: 100 V - 240 V AC、50 - 60 Hz
0.55 A

定格出力: 7.9 V DC、2.53 A

 は安全項目です。


外形寸法 (幅×高さ×奥行): 42 mm×31 mm×104 mm

質量: 220 g

充電器

定格入力: 100 V - 240 V AC、50 Hz / 60 Hz
26 VA (AC100 V時)
36 VA (AC240 V時)

定格出力: 8.4 V DC、1.2 A

 は安全項目です。

外形寸法 (幅×高さ×奥行): 70.0 mm×44.5 mm×116.0 mm

質量: 160 g

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

さくいん

■ 数字

25M REC CH	73
3D REC / PB	16
3D 結線ラベル	15
3D 信号の記録再生	36
3D のサムネール	43
3D 録再モード	40
3D 録再モード / 同期再生モード用接続	51
3D 録再モードのワーニング情報	87
「3D」ロゴ	43 , 38
3D 録再モード (3D REC/PB)	38
4:3 MARKER	68

■ A

AC アダプター	15 , 24
AC コード	15
ALL CLIP	51
ANALOG AUDIO IN 端子	20
ANALOG AUDIO MON 出力端子	20
AUDIO	67
AUDIO MON ボタン	17
AUDIO SMPL RES	73
AUTO POWER OFF	73
AUTO REC	7, 60
AVC-Intra 50 / 100	77

■ B

B CONTRAST	69
BACKLIGHT	69
BASIC	60
BEEP	62
BRIGHTNESS	69

■ C

[CANCEL] ボタン	17
CARD STATUS	54
CC (F1) BLANK	65
CC (F2) BLANK	65
CC REC	65
CH1 INPUT LEVEL	67
CH2 INPUT LEVEL	67
CHANGE PARTITION NAME	53
CLIP PROPERTY	54
CLOCK SET	73
COLOR LEVEL	69
COMPRESSION MODE	65
CONTRAST	69
COPY	53
COUNTER · RESET / TC PRESET ボタン ..	16
[COUNTER] ボタン	16
CROSS HATCH	68
CTL	34 , 48
CTL DISPLAY	63

■ D

DATA DISPLAY	57
DATE FORMAT	58
DELETE	52
DELETE LAST PARTITION	53
DEVICES - SD CARD	54
DF MODE	64
[DIAG] ボタン	17

DISCRETE BLACK	65
DISPLAY	68
DOWNCONV. MODE	66
Dual P2 3D クリップ	
異常状態インジケーター	43
Dual P2 3D クリップ	36
DVCPRO HD	77, 78
DVCPRO50 DVCPRO DV	78

■ E

EDH(SD)	65
EJECT ボタン	19
EMBD CH SEL	67
EXCH.THUMBNAIL	53
EXIT · CANCEL ボタン	17
[EXIT] ボタン	17
EXPLORE	56
EXPORT	56
EXT TC SEL	64

■ F

FF. REW MAX	61
FF · NEXT ボタン	18
FILE	74
FORMAT	52, 72
FREE CAP. OF PARTITION	54
FREQUENCY	72

■ G

G CONTRAST	69
GAMMA SELECT	66

■ H

HD EMBD LTC	64
HD EMBD VITC	64
HDMI OUT 端子	21 , 38
HDMI 出力	50
HDMI 端子	50
HD / SD - SDI IN / OUT 端子	21
HD シリアルデジタル	50
HD モード	28
HOURLY METER	76

■ I

ID OF 9P REMOTE	62
INDICATOR	57
INITIAL MENU	74
INITIALIZE	55
INPUT SEL	64, 67
INT SG	64

■ K

KEYBOARD	59
KEYBOARD 端子	21

■ L

LCD	69
LEVEL METER	67
LINK(D) 端子	21
LINK(M) 端子	21
LINK(S) 端子	21
LOAD	55, 74, 75
LOCAL ENABLE	62

LOOP REC 7, 60

M

MARKED CLIPS 52

MENU・DIAG ボタン 17

[MENU] ボタン 17

META DATA 55

MODEL 76

[MODE] ボタン 16

MONITOR CH 67

O

OPERATION 52

OSD GRADE 68

OSD OUTPUT 68

OSD TC SELECT 68

OSD 画面出力の設定 12

OSD 表示 45

OUTPUT FORMAT 66

OUTPUT REF 61

OUTPUT SEL 38, 65

P

P2 カード 27, 40

P2 カードアクセスランプ 19, 27

P2 カード記録データ 89

P2 カードコピー 36

P2 カードスロット 19, 11

PB POSITION 58

PLAY DELAY 61

PLAY ボタン 18

POWER ON GUI 60

POWER ボタン 19

POWER ランプ 19

[PREV] ボタン 17

PROPERTY 54, 55

PROPERTY DISP. 59

PROPERTY SETUP - P2 CARD CAP 54

R

R CONTRAST 69

REC FORMAT(HD) 72

REC FORMAT(SD) 72

RE-CONNECTION 53

RECORD 55

REC ボタン 18

REF IN 端子 20

REF LEVEL 67

REMOTE・MODE ボタン 16

REMOTE 端子 21

[REMOTE] ボタン 16

REMOTE、REF ERROR、
TEXT MEMO 表示 46

REPAIR CLIP 53

REPEAT PLAY 61

[RESET / TC PRESET] ボタン 16

REW・PREV ボタン 17

RS-422A 入出力 51

RUN MODE 64

S

SAME FORMAT CLIPS 51

SAVE 75

SAVE AS 74

SD / SDHC メモリーカードスロット 19

SD / SDHC メモリーカード 90

SDCARD FORMAT 74

SDCARD PROPERTY 74

SDI OUT 端子 38

SDI 出力 50

SDI 入力 49, 50

SD アナログコンポジット出力 50

SD シリアルデジタル 50

SD モード 28

SEEK POS SEL 61

SELECTED CLIPS 51

SETUP 57

SETUP - VERIFY 56

[SHIFT] + [SET] ボタン 17

SHIFT ボタン 17

SHUTTLE MAX 61

SLOT CLIPS 52

SORT 58

SPEAKER OUT 67

STILL / PAUSE ボタン 18

STOP EE SEL 60

STOP ボタン 17

STORAGE 56

SYNC PB 16, 42

SYS H(HD) 73

SYS H(SD) 73

SYSTEM 72

SYSTEM INFO 76

T

TC / UB / CTL 63

TC OUTPUT REF 64

TCG MODE 63

TEXT MEMO CLIPS 52

THUMBNAİL 51, 57

THUMBNAİL SIZE 58

THUMBNAİL ボタン 17

TIME CODE IN 20

TIME CODE IN / OUT 端子 20

TIME CODE OUT 20

TIMEOUT 69

[TOP] / [BOTTOM] ボタン 17

U

UBG MODE 63

UPCONV. MODE 66

USB DEVICE 16

USB HOST 35, 51, 46, 56

USB HOST 端子 19, 27

USB2.0 デバイス端子 21

USB キーボード 80

USB デバイス 35, 37

USB デバイス / 3D 録再モード /
同期再生モード用接続 51

USER BUTTON 70

USER CLIP NAME 23, 55

USER1 70, 71

USER1-3・4-6 ボタン 17

USER2 71

USER4 71

USER5 71

USER6 71

V

VERSION	76
VFR REC	60
VIDEO	64
VIDEO OUT 端子	21
VITC BLANK	63
VITC POS-1	63
VITC POS-2	63

W

WFM TYPE	68
WFM 表示	47
WIDE SEL	65

あ

アクセスランプ	19
圧縮記録フォーマット表示	45
アナログ入力	50

い

インポート	36
-------------	----

う

ウェブフォームモニター表示	47
---------------------	----

え

液晶モニター	31
エクスプローアー画面	33
エクスポート	30
エディットコピーインジケータ	11
エラー情報	82, 88

お

オーディオ出力信号	50
オーディオ入力信号	50
オーディオレベルメーター	46

か

カーソル操作ボタン	17
カード	26
カード残量	45
カードの状態	41, 44
外形寸法	48, 51
解像度	49
外部モード	49
カウンター値	23
確認と修正	24
可変速	15
可変速再生	8, 39
カラーサンプリング	49
簡易プロパティ表示	12

き

キーボード	51, 79
機器状態のワーニング情報	84
記録	33, 41
記録オーディオ信号	48
記録音量調整	6
記録時間	28, 48
記録スロットの変更	6
記録ビデオ信号	48
記録フォーマット	48
記録メディア	48
記録モード	10

く

クリップ	38
クリップコピー	18
クリップ再生の全体遷移	9
クリップ削除	19, 35, 39
クリップ情報	34, 40, 44
クリップ付加情報	20
クリップ選択数	11
クリップの記録	6
クリップの選択	16
クリップの分割	28
クリップ番号	11, 20, 45
クリップメタデータ	21
クリップメタデータ情報	20

こ

誤消去	29
コマ送り再生	8, 15

さ

リピート再生	9
再生	33, 42, 45, 14, 42
再生画面	45, 5
再生する	8
サイドバイサイド・フレームパッキング方式	38
サムネール	11
サムネール画面	32, 42, 43, 46, 5, 10, 38
サムネール下の項目	13
サムネールスクロールバー	12
サムネールの大きさ	13
サムネールの設定	12
サムネールのワーニング情報	86
サムネールを表示する	34
サムネールを変更する	22, 40
サンプリング周波数	49, 50

し

時間表示	11
周波数表示	46
システムフォーマット	10
システムフォーマット表示	46
質量	48, 51
自動電源オフ	26
充電	22
状態メッセージ	12
消費電力	48
使用容量	41
ショットマーク	17, 39
ショットマークインジケータ	11
ショットマークを付加	17

す

ストレージデバイス	11, 27
ストレージデバイス情報	34
ストレージデバイスのコピー	31
ストレージデバイスの接続	29
ストレージデバイスのタイプ	28
ストレージデバイス表示	32
スピーカー	19
スレーブ (R) 側端子	37, 38, 39
スレーブ側 P2 カード状態表示	41
スロット状態表示	43

せ	接続 37, 44	バリアブルフレームレート (VFR) 記録 7
	設定削除 25	ひ
	設定メニュー 47, 51	ビデオ圧縮方式 49
	全記録残量 41	ビデオ出力信号 50
	選択解除 16	ビデオ入力信号 49
	全容量 45	表示状態 10
た		ふ
タイムコード 34, 45, 48		ファームウェア 88
タイムコード/ユーザーズビットの設定 48		ファイルの読み込み 24
タイムコード/ユーザーズビットの再生 50		フォーマット 25, 29
タイムコード出力 51		フォーマット一覧 77
タイムコード入力 51		不完全クリップ 20, 39
単一クリップ 15		不完全クリップインジケータ 11, 22
て		不明クリップインジケータ 11
ディエンファシス 50		不良クリップ 19, 39
定格 48		不良クリップインジケータ 11
定格出力 51		フルキーボード 79
定格入力 51		プロキシーインジケータ 11
テキストメモ 17, 39		プロパティ表示 14
テキストメモ位置 15		へ
テキストメモインジケータ 11		ヘッドホン出力 50
テキストメモ削除 17		ヘッドホン端子 19
デジタルオーディオ 50		ヘッドルーム 50
デジタルビデオ 49		ほ
デッキ情報表示 46		保存周囲温度 48
デュレーション 10		ホットスワップ記録 7
テンキーボード 79		ま
電源 25, 40		マスター (L) 側端子 37, 38, 39
電源およびバッテリー装着部 21		マスター側 P2 カード状態表示 41
電源電圧 48		スレーブ側表示 46
と		め
同期再生 45		メタデータ 23
同期再生モード 44, 42		メタデータアップロードファイル 23
再生 42		メタデータの記録設定 23
同期再生モードのワーニング情報 87		メニューの操作 30
動作周囲温度 48		メニューリセット 76
動作周囲湿度 48		も
動作状態表示 45		モニター音量調整 17
動作へのワーニング情報 83		モニター出力 50
取り出し 29		ゆ
な		ユーザーズビット 34, 48
内蔵スピーカー 50		り
内部モード 48		リファレンス入力 49
ね		量子化 49, 50
年月日の表示順 13		ろ
年月日・時刻 26		録再画面 5, 42, 6
は		わ
パーティションの削除 33		ワイドインジケータ 11
パーティション名の設定 33		
パーティション/フォルダー 33		
バッテリー 22, 23		
バッテリー VW-VBD55 15		
バッテリー残量 46		
バッテリー残量表示 43, 12, 38		
バッテリー充電器 15		
バッテリーロック解除ボタン 21		

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、
正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2011